

# 日本型教育の海外展開 EDU-Port ニッポン

令和6年10月17日(木)

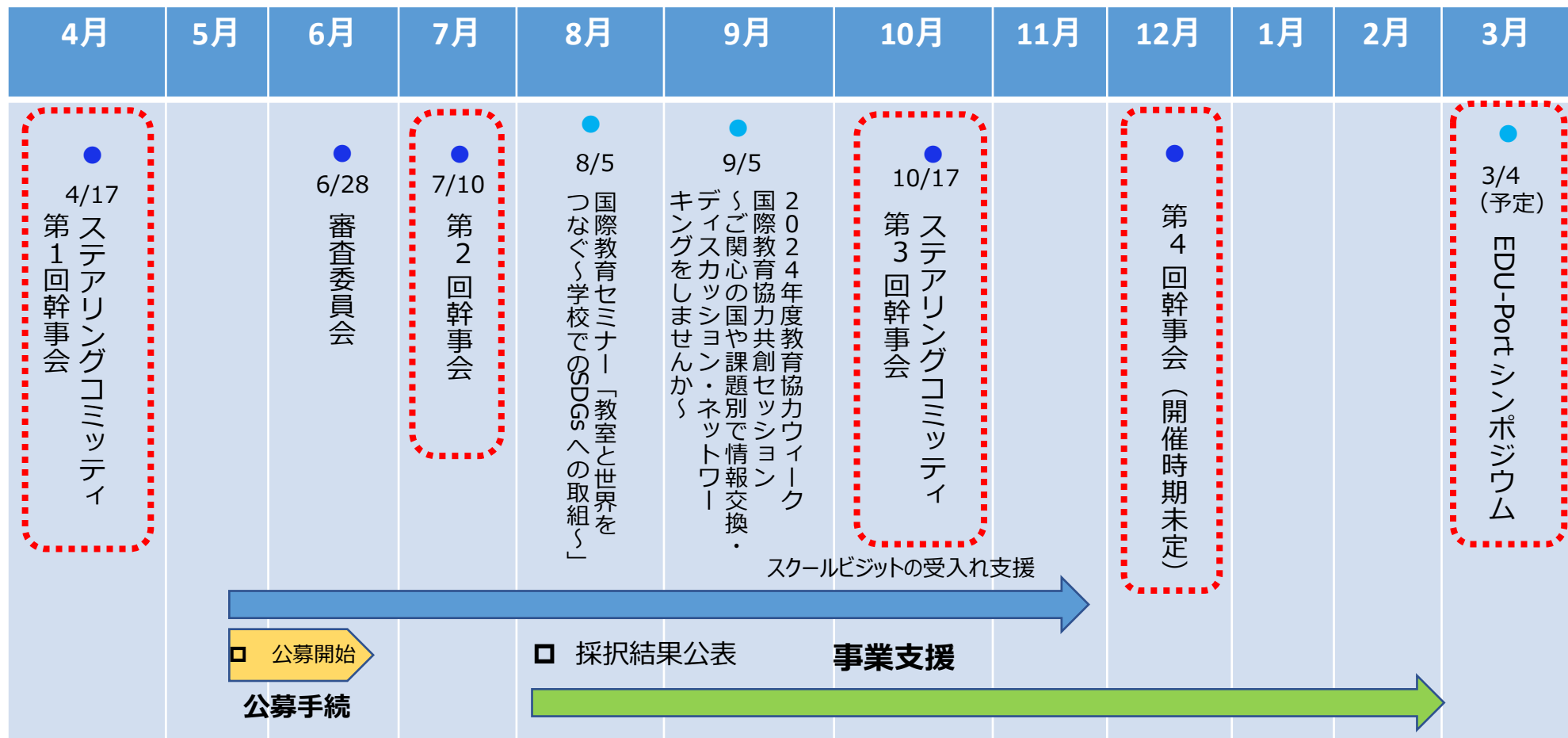
文部科学省大臣官房国際課



# 日本型教育の海外展開 (EDU-Portニッポン)

## 令和6年度スケジュール

● 各種委員会 ● イベント … ステアリングコミッティ委員関係行事



## 令和6年度 グローバルサウス地域への教育システムの海外展開と国内還元に関する調査研究 採択事業一覧

事業名称	代表機関名称	対象国	事業概要
アフリカ・中東・アジア諸国との連携による新たな教師教育国際協働モデルの構築及びEDU-Portニッポン事業の国内還元に関する省察的調査研究	国立大学法人福井大学	マラウイ、ウガンダ、エジプト、ヨルダン、フィリピン	世界の教師教育の発展を企図し、21世紀における地域の学校改革と教師の協働実践を支える新たな教師教育国際協働モデルの構築に向け、海外のパートナー機関と協働で多重の専門職学習コミュニティを編みながら、学校拠点の実践研究とそれを支える専門職としての教師の力量形成並びに協働研究体制の高度化に取り組む。また、日本の教育の国際化と質的向上の効果に係る調査研究として、これまでに実施されたEDU-Portニッポンの公募事業（113件）の報告書を分析・検討し、今後に向けた課題や示唆を得る。

## 令和6年度 EDU-Portニッポン 応援プロジェクト 採択事業一覧

事業名称	代表機関名称	対象国	事業概要
日本に特徴的な食を科学するモデルカリキュラムの構築と実施	Indiana Global Learning Center	ベルー、ルーマニア、アメリカ	サンタマリアカトリック大学（ベルー共和国）およびルーミアンアメリカン大学（ルーマニア）で日本に特徴的な食品に関する既存4科目（清酒学Ⅰ、Ⅱ、日本茶学、味とかおり）を継続開講するとともに、新規5科目を開発し開講する。インディアナ大学（米国）ではこれら科目の社会科学専攻学生用版を開発し受講生の拡大に努める。日本の伝統的な食品の製造、消費、および文化に関するキュレーター養成モデルカリキュラムの構築と海外での教育の実施を通じて、日本の教育カリキュラムの国際通用性が向上するとともに、日本文化への理解の深化が可能となる。
日本式幼児教育の展開及び英語・中国語による日本式幼児教育の伝達度合いに関する検証	学校法人永田学園（大東幼稚園）	マレーシア	マレーシア（クアラルンプール）にて現地人向けの幼稚園を開園、マレーシア教育省のガイドライン等に沿ったカリキュラムに、日本式/大東式幼児教育を取り込み、実施する。取組を通じて、様々な言語に触れることで語彙力を高めつつ、日本語で伝えている日本式幼児教育内容の伝達度合いを検証する。
教員向けプラットフォーム「授業準備ネット」のベトナム展開	株式会社スプリックス	ベトナム	授業準備ネット（旧フォレストネット）に集約されている、日本の教員が作った諸コンテンツ（日本型教育そのものと言える教科授業や学級経営など多岐にわたる教育コンテンツ。形式は動画、板書例、学習指導案、授業記録、配布物データなど。）を翻訳し、ベトナムの教員及び教員を目指す学生に「コンテンツの受け手」として活用いただく。また、日本の教員向けに本事業の成果報告・共有を行うとともに、海外向けのコンテンツ投稿を募集することで、教育現場での国際的な視野の育成に取り組む。
日本とアジア諸国等の相互理解促進に向けた中高生オンライン国際交流推進事業	HelloWorld株式会社	インド、インドネシア、韓国、タイ、台湾、トルコ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、モンゴル	本事業では、当社のオンライン国際交流教育プラットフォーム「WorldClassroom」をアジア諸国等の教育現場に普及し、日本とアジア諸国等の中高生のオンライン国際交流を推進する。当社は文化紹介や産業人材育成関連の独自コンテンツを有しており、中高生の相互理解促進に加えて、国内のグローバル人材やアジア諸国等の親日・産業人材の育成を図ることも目的とする。

# 令和6年度 EDU-Portニッポン 応援プロジェクト 採択事業一覧

事業名称	代表機関名称	対象国	事業概要
対ベトナム社会主義共和国「初等義務教育・ミズノヘキサスロン運動プログラム導入普及促進事業」	ミズノ株式会社	ベトナム	ベトナムでは、体育の授業時間が先進国に比べ非常に少なく、「走る」「投げる」「跳ぶ」などのスポーツの基本動作の要素が十分に考慮されていないことを踏まえ、2015年よりベトナムの初等教育における体育授業の充実を図る事業を実施している。引き続き、ベトナム教育訓練省と連携し、指導者育成、パイロット校での実証等を通じ、「ミズノヘキサスロン」をベトナム全公立小学校へ導入することを目指す。これにより、ベトナムにおける体育授業の改善を図るとともに、運動の楽しさと喜びを提供し、肥満等の健康被害の低減、健康増進にも貢献する。
インド共和国初等教育への日本型音楽教育導入事業	ヤマハ株式会社	インド	デリーの教育委員会と連携し、提携公立初等学校合計10校・第5及び6学年・約1,000名の児童に対してリコーダーを使った日本型音楽教育のパイロット授業を行う。昨今世界的に注目されている「非認知能力」を育むことができるか、日本企業と協業して計測を実施。また、新たな協力先となる地方教育委員会を探し、展開拡大を目指す。
ケニア共和国初等教育への器楽実践を含む音楽教育導入事業	ヤマハ株式会社	ケニア	ケニアでは最新のカリキュラムにリコーダー等の器楽を用いた音楽教育が採用されているものの授業で実施されていないという現状がある。そこで、当社が初等教育年代において最適教育楽器であると考えリコーダーを用いた音楽教育の全国実施を目指し、パイロット校において日本型音楽教育の知見を活かした器楽実践を含む音楽教育の導入を支援する。また、コンピテンシーベースドカリキュラムに則した授業が現場で適切に実践されるよう教科書・指導書制作を支援する。
カンボジア公教育改革 誰も取り残さないための学校改革モデルづくりと展開準備	認定特定非営利活動法人SALASUSU	カンボジア	参与観察型授業研究を中心とした日本発の学校改革手法をカンボジアの公立学校や現職教師に提供する。具体的には、教師養成大学附属小中学校4校・公立職業訓練校10校において研修を実施するほか、研究開発の場として実験校を自社運営する。教師の「子どもの学ぶ姿から学ぶ力」を育成し、学びの疎外から学校を中退して貧困サイクルの連鎖に陥りやすい貧困層の子ども達に充実した学びの機会を提供する。全ての子どもが質の高い教育を受けられる教室を実現・展開することで、「学びの貧困」解決を目指す。
子どもたちが観察・記録・思考・伝達により「科学する力」を育むプロジェクト	一般社団法人チームがじゃん	ラオス	ラオス国では、実践実験授業の導入が検討されているところである。本プロジェクトでは、子どもたちが、楽しく身の回りの自然に興味を持ち、自ら、観察・記録・思考・伝達する実践活動を行うことにより「科学する力」が養われる課外教育モデルを構築する。活動を通じて、教科書に書かれていることと、身の回りに起こっていることを関連づける力の育成を支援し、多くの気づきと発見の機会を通じて、地域の自然を愛する次世代を育てることを目指す。

# 国際教育セミナー「教室と世界をつなぐ～学校でのSDGsへの取組～」

これまで実施してきた事業成果を国内の教育現場に還元し、EDU-Portニッポンの認知度向上を図るため、普及セミナーを実施した。  
また、今年度は初めて地方での開催を行った。

- 主 催：文部科学省
- 日 時：2024年8月5日14時～16時
- 場 所：愛知県名古屋市（TKPガーデンシティ）
- 内 容：学校でのSDGsへの取組事例紹介  
パネルディスカッション：世界に目を向けてSDGsに取り組む意義
- 参加者：35名
- 参加者の感想：参加者からは、「（SDGsへの取組が）生徒の行動変容にまで至っている事例を知ることができて良かった」、「世界と繋がることで、未来を生きる世代の教育が実現する。特別な先生でなくとも、誰もがその風景を見られるような日本の教育を実現したい」といった感想が寄せられた。



愛知県における学校への取組支援について



パネルディスカッション「世界に目を向けてSDGsに取り組む意義」

# 教育協カウィーク2024 国際教育協力共創セッション

～ご関心の国や課題別で情報交換・ディスカッション・ネットワーキングをしませんか～

教育協カプラットフォーム構築を目的に、開発コンサルタント、大学、NGO、JICAによって2021年にスタートした『教育協カウィーク』は、今年も9月2日（月）から13日（金）に開催された。EDU-PortニッポンはJICAと共同で『国際教育協力共創セッション』を主催し、民間企業や教育関係者等と関心のある国や課題ごとに情報交換ディスカッション、ネットワーキングの機会を設けた。

■ 主催：教育協カウィーク事務局

（JICA/開発コンサルタント協力企業/教育協カNGOネットワーク(JNNE)）

■ 日時：令和6年9月5日 17:00～18:30

（懇親会 同日 18:40～20:10）

■ 開催方法：対面

■ 参加者：34名

教育協カウィーク2024

The 4th Annual Gathering  
International Education Cooperation Forum  
September 2 - 13, 2024



みんなで協力して包摂的な教育を共創していきましょう！！



## 概要

本セッションは、教育課題が高度化、多角化する途上国のニーズに応えるため、民間企業からの経験共有、個別相談・情報交換・ネットワーキングを通じて、様々なステークホルダーがノウハウや経験を共有し、国際教育協力における新たな共創のきっかけづくりを目指し開催された。

当日は、JICA教育・民間連携事業の紹介、文部科学省「EDU-Portニッポン」事業の紹介に続き、ヤマハ株式会社及び学校図書株式会社より、国際教育協カに民間企業が参加する意義、JICA技術協カプロジェクトへの参加が様々な形の教育協カに発展した事例、JICA民間連携事業、EDU-Port等のスキーム活用のメリットなどについて紹介されたほか、インクルーシブ教育やデジタル教材、アフリカ、アジア等、参加者の関心のあるテーマに沿って情報交換が行われた。



# スクールビジットの実施

- 「SEAMEO-Japan ESD Award」で最優秀賞を受賞したインドネシア AL-YaYA' LU Superior Elementary Schoolの児童4名、教員2名を受け入れ（令和6年9月9日（月）～13日（金））大和市立下福田小学校を訪問して、ESDに関する取組について発表したほか、5年3組の児童と交流した。また、文部科学省大臣政務官表敬や、在日インドネシア大使館表敬に加え、中央防波堤埋立地、東京都水道局の広報施設「虹の下水道館」を見学し、日本の廃棄物や下水処理について理解を深めた。

## ○神奈川県大和市立下福田小学校を訪問



## ○在日インドネシア大使館を訪問



## ○安江文部科学大臣政務官を表敬訪問



## ○環境施設視察



## 令和6年度EDU-Portシンポジウム

外務省・経産省などの関係省庁、JICA・JETROなどの政府系機関、大学・教育委員会、教育事業者をはじめとする教育関係者が一堂に会し、今年度の事業の成果及び今後の方向性を確認することを目的とし、以下の日程でシンポジウムを開催する。

- **日時**：令和7年3月4日（火）14:00～17:30
- **場所**：全国都市会館
- **参加者**：EDU-Portニッポン関係者、在京各国大使館、日本型教育の海外展開に関心のある教育関係者、民間企業、NGO等
- **開催形式**：対面（定員100名）およびオンラインのハイブリッド形式
- **使用言語**：日本語・英語（同時通訳あり）
- **テーマ**：「グローバルサウスと日本型教育の協働：国内教育への還元と未来の展望」（仮題）
- **趣旨**：本セミナーでは、EDU-Portの取り組みを中心に、グローバルサウス地域における教育および人材育成への日本の協力がどのような役割を果たし、その成果がどのように日本国内に還元されるかについて議論を行う。さらに、EDU-Portがこれらの活動にどのように貢献し、国際教育協力を推進するかについても考察する。
- **プログラム構成**：
  1. 基調講演
  2. 活動報告および成果事例の紹介
  3. パネルディスカッション
  4. ポスターセッション